

2017 ジャパンオープンチアリーディング選手権

ダンス 競技概要

I. 大会スケジュール

2017年10月21日(土)

II. 部門/人数/年齢

編成	部門	年齢	人数	
Junior	Pom	16歳以下		
	Hip Hop			
Senior	Pom	18歳以下		
	Hip Hop			
Open	Pom	14歳以上		18~24
	Hip Hop			
	Jazz			
	Pom Doubles		2	
	Hip Hop Doubles			
Exhibition	全てのカテゴリー(ダブルス以外)	5~上限なし	制限なし	

[注意事項]

- Youth~Senior 編成はチームメンバーの最高年齢を上限とした部門を選択すること
- 同一選手が複数団体にエントリーすることは不可
- 2017年12月31日時点での年齢とする

III. 競技ルール

全ての部門は、ICUが現在発表している2017年度版を使用。

IV. 演技時間

チーム部門: 2分~2分30秒以内

ダブルス部門: 1分~1分30秒以内

- ※ 演技時間計測のタイミングは、振りの動き出しまたは音楽の始まりで開始し、最後の振りの動きまたは音楽の終わりで終了とする。

V. 演技フロア

42 フィート×42 フィート(約 12.8m×12.8m)

VI. クロスオーバー(選手の重複エントリー)

同一チームより複数編成・部門へのエントリーは認められる。重複エントリーの際、演技間のインターバルは最大限考慮するが、進行上十分な時間が取れない可能性があることを事前に了承すること。その他クロスオーバーに関しては以下を厳守のこと。

- 同一選手の重複エントリーは 2 演技構成まで可能(但し、ダブルスを含む場合は 3 演技構成まで可能)
- 同じ演技構成で、別編成によって重複エントリーすることは不可。
- 同編成内での部門重複エントリーは可能。

VII. ICU アンチ・ドーピング規約:ガイドラインと手続き

ICU Junior World Cheerleading Championships/ICU World Cheerleading Championships では世界アンチ・ドーピング機構(WADA)による検査が実施されることを理解し、アスリート精神に則り、ICU が加盟する世界アンチ・ドーピング機構、日本スポーツチア&ダンス連盟(Cheer Japan)が加盟する日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の各規則を遵守する。

VIII. 違法賭博と厳正なる結果確定への Cheer Japan 規則と規約について

Cheer Japan は違法賭博と厳正なる結果確定について選手のフェアプレイと競技の品性を保つために規則と規約に則った運営を行う。

IX. 一般安全規定

1. 大会期間中、全てのチーム/参加者は適切な資格を有するディレクター/アドバイザー/コーチの管理指導のもと行動すること。
2. コーチは演技に組み込まれた技術、またそれらの適正なレベルの向上のため、各選手、またチームの技術レベルを考慮すること。
3. 全てのディレクター/アドバイザー/コーチは、怪我人が出た場合に備えて緊急対応策を立て、確認しておくこと。
4. 各チームは演技フロアに汚れを残さないこと。(例:スプレーやパウダー、オイルなどの付着、残留)違反の場合は減点の対象となる。
5. 火や有毒ガス、動物など危険を伴う物の使用は厳重に禁止される。違反の場合は失格の対象となる。
6. 全ての大会参加者は、競技中は競技エリアへの入退場を含みポジティブなプレゼンテーションを行うと共に大会期間を通してスポーツマンシップを発揮することに同意するものとする。各チームのアドバイザーおよびコーチは、自チームの選手、コーチ、保護者、およびチームに関わる全ての人々が、大会期間中それに従って行動する責任を持つ。スポーツマンシップに反する行為が深刻な場合には、失格の対象となる。

X. 振付、音楽、衣装、手具

1. 挑発的、攻撃的もしくは卑猥な振り付け、衣装、化粧および音楽は、家族連れの観客が見るに不相応であり、観客へのアピールを欠くこととなる。またこれらの要素は、ジャッジの演技全体に対する印象や得点に影響を与え得る。不適切、いかかわしいものをほめかすもの、攻撃的、あるいは性的な内容を表すジェスチャーやそれを連想させる振付も、挑発的もしくは卑猥な要素とみなされる。
2. 全ての振り付けは年齢相応であること。
3. 曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう、最大限の努力をする事。※大会当日に大会運営側に使用楽曲の歌詞内容に関して確認があった際は、歌詞内容を確認出来る資料の提出をお願いいたします。(原文、外国語の場合は和訳も含める)
4. 靴を着用の事。ダンスポニー着用可。裸足、靴下又は足の覆われたタイツ、ハイヒール、ローラースケート、ローラーブレード及びその他スポーツに不相応の履物での演技は禁止とする。不明な点がある場合は、ICU Rules Committee まで問い合わせる事。

5. 衣装の一部としてのアクセサリは着用可。
6. 全ての衣装は安全かつ全身を覆うものでなければならない。ブリーフ、ホットパンツ又は丈の短いショーツを着用の場合は下にタイツも着用する事。全ての男性選手の衣装は、全面が全て覆われたシャツである事。ただし、ノースリーブは可。体を露出する衣装は失格の対象となり得る。
7. チアやチャント(※チアリーディングのコールのこど)は実施不可。
8. 手に持つ、又は自立式の小道具は全てのカテゴリーにおいて使用不可。衣装の一部(ネックレス、ジャケット、ハット等)は小道具として使用可であり、体からはずして捨てることも可。(補足:Pom 部門において Pom は衣装の一部とみなされ、全演技を通して使用されなければならない。)

XI. カテゴリー定義

Pom

演技全体を通して Pom を使用することが求められる。シンクロ性と視覚効果を含み、正確な Pom のモーションやダンステクニックの要素が組み込まれているかどうか重要なポイントである。モーションにはシャープで、クリーンで、正確さが求められ、チームがシンクロし、“ひとつ”に見えることが大切である。構成にはレベルチェンジ、グループワーク、フォーメーションチェンジなどの視覚効果が重要である。Pom のルーティンは Jazz や Hip-Hop の要素を織り交ぜつつも、トラディショナルなチアリーディングのテーマを伝えることが重要である。

Hip-Hop

実施、スタイル、創造性、ボディアイソレーションやボディコントロールを強調した、ストリートスタイルの動きが取り入れられたルーティンであること。演技全体を通して、動きの一体感や音楽のビートやリズムを伝えることが求められる。ジャンプやジャンプバリエーション、ジャンプコンビネーション、ストールやフロアワークなどを取り入れることで Hip-Hop ならではの効果を加えることができる。ヒップホップ文化を反映した衣装やアクセサリを着用すること。

Jazz

スタイルに見合った動きとコンビネーション、フォーメーションチェンジ、グループワーク、ダンス テクニック要素が組み込まれているルーティンであること。演技全体を通して、動きの連続性とチームの均一性が求められる。正しいダンステクニックの実施、身体の伸び(引き上げ)、ボディコントロール、ボールチェンジなどのバレエを基礎としたボディワークは非常に重要である。

【競技ルールに関する問い合わせ】

※安全規定に関する問い合わせは、チーム名と連絡先を必ず明記のうえ、動きを撮影した動画を下記アドレスにメール添付にて送信、もしくはリンク先 URL をご連絡ください。

※受付期間 :9 月末日 *余裕を持ってお問い合わせください。

E-mail : technical@jfscheer.org Cheer Japan 競技部 宛